

平成14年3月期 個別中間財務諸表の概要

平成13年11月26日

上場会社名 **株式会社みずほホールディングス**
 コード番号 8305
 問合せ先 責任者役職名 主計部 部長
 氏名 島山 督
 中間決算取締役会開催日 平成13年11月26日
 中間配当支払開始日 -

上場取引所(所属部) 東証市場第一部
 大証市場第一部
 本社所在都道府県 東京都
 TEL (03) 5224 - 2030
 中間配当制度の有無 有 無

1. 13年9月中間期の業績(平成13年4月1日～平成13年9月30日)

(1)経営成績 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業収益		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
13年9月中間期	110,346	(-)	99,778	(-)	99,408	(-)
12年9月中間期	1,763	(-)	1,495	(-)	1,109	(-)
13年3月期	114,020	(-)	100,059	(-)	99,293	(-)

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭
13年9月中間期	98,294	(-)	10,677	40
12年9月中間期	642	(-)	69	82
13年3月期	97,764	(-)	9,404	66

(注) 期中平均株式数 13年9月中間期 9,205,855株 12年9月中間期 9,205,856株 13年3月期 9,205,856株
 会計処理の方法の変更 有 無
 営業収益、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金
	円	円
13年9月中間期	0	—
12年9月中間期	(注 3,500)	—
13年3月期	—	(注 7,000)

(注) 12年9月中間期の欄に記載している金額は、(株)第一勧業銀行、(株)富士銀行、(株)日本興業銀行の13年3月期中間配当に代えて、平成12年9月27日時点における各行の株主に対して、当社より交付した株式移転交付金の金額です。
 なお、13年3月期の年間配当金にも当該移転交付金の金額を含んでおります。

(3)財政状態

	総資産	株主資本	株主資本 比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
13年9月中間期	7,467,059	6,616,288	88.6	489,912 14
12年9月中間期	6,512,130	6,464,284	99.3	473,399 94
13年3月期	7,412,632	6,561,407	88.5	483,949 97

(注)期末発行済株式数 13年9月中間期 9,205,846株 12年9月中間期 9,205,856株 13年3月期 9,205,856株

2. 14年3月期の業績予想(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
	百万円	百万円	百万円	期 末	期 末
	円	円	円	円	円
通期	123,000	100,000	99,000	3,500	3,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 8,366円 35銭

期中平均株式数

	13年9月中間期	12年9月中間期	13年3月期
	株	株	株
普通株式	9,205,855.82	9,205,856.53	9,205,856.53
第一回第一種優先株式	33,000	33,000	33,000
第二回第二種優先株式	100,000	100,000	100,000
第三回第三種優先株式	100,000	100,000	100,000
第四回第四種優先株式	150,000	150,000	150,000
第五回第五種優先株式	52,411	52,411	52,411
第六回第六種優先株式	150,000	150,000	150,000
第七回第七種優先株式	125,000	125,000	125,000
第八回第八種優先株式	125,000	125,000	125,000
第九回第九種優先株式	140,000	140,000	140,000
第十回第十種優先株式	140,000	140,000	140,000

(注) 1単位の株式数は、普通株式及び優先株式とも1株であります。

期末発行済株式数

	13年9月中間期	12年9月中間期	13年3月期
	株	株	株
普通株式	9,205,846.37	9,205,856.53	9,205,856.53
第一回第一種優先株式	33,000	33,000	33,000
第二回第二種優先株式	100,000	100,000	100,000
第三回第三種優先株式	100,000	100,000	100,000
第四回第四種優先株式	150,000	150,000	150,000
第五回第五種優先株式	52,411	52,411	52,411
第六回第六種優先株式	150,000	150,000	150,000
第七回第七種優先株式	125,000	125,000	125,000
第八回第八種優先株式	125,000	125,000	125,000
第九回第九種優先株式	140,000	140,000	140,000
第十回第十種優先株式	140,000	140,000	140,000

(注) 1単位の株式数は、普通株式及び優先株式とも1株であります。

1株当たり配当金

	13年9月中間期	12年9月中間期	13年3月期
	(中間配当)	(中間配当)	(年間配当)
	円	円	円
普通株式	0	3,500	7,000
第一回第一種優先株式	0	11,250	22,500
第二回第二種優先株式	0	4,100	8,200
第三回第三種優先株式	0	7,000	14,000
第四回第四種優先株式	0	23,800	47,600
第五回第五種優先株式	0	3,750	7,500
第六回第六種優先株式	0	21,000	42,000
第七回第七種優先株式	0	5,500	11,000
第八回第八種優先株式	0	4,000	8,000
第九回第九種優先株式	0	8,750	17,500
第十回第十種優先株式	0	2,690	5,380

(注) 12年9月中間期の欄に記載している金額は、(株)第一勧業銀行、(株)富士銀行、(株)日本興業銀行の13年3月期中間配当金に代えて、平成12年9月27日時点における各行の株主に対して、当社より交付した株式移転交付金の金額です。

なお、13年3月期の欄に記載している金額にも当該移転交付金の金額を含んでおります。

14年3月期の1株当たり配当金予想

	1株当たりの年間配当金	
	期 末	
	円	円
普通株式	3,500	3,500
第一回第一種優先株式	22,500	22,500
第二回第二種優先株式	8,200	8,200
第三回第三種優先株式	14,000	14,000
第四回第四種優先株式	47,600	47,600
第六回第六種優先株式	42,000	42,000
第七回第七種優先株式	11,000	11,000
第八回第八種優先株式	8,000	8,000
第九回第九種優先株式	17,500	17,500
第十回第十種優先株式	5,380	5,380

(注)第五回第五種優先株式は、平成14年2月1日までに全株当社普通株式に転換予定であります。

(参 考)

「13年9月期の業績」指標算式

1株当たり中間(当期)純利益

$$\frac{\text{中間(当期)純利益} - \text{優先株式配当金総額}}{\text{期中平均普通株式数}^*}$$

1株当たり株主資本

$$\frac{\text{(中間)期末資本の部合計} - \text{(中間)期末発行済優先株式数} \times \text{発行価額}}{\text{(中間)期末発行済普通株式数}^*}$$

「14年3月期の業績予想」指標算式

1株当たり予想当期純利益

$$\frac{\text{予想当期純利益} - \text{予想優先株式配当金総額}}{\text{中間期末発行済普通株式数}^*}$$

*当中間期においては、自己株式を除く